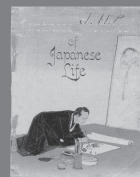


本誌の表紙に使われた貴重書	2
ライブラリー・スケッチ	3
新入生の皆さんへ 学びのための効果的な図書館利用	4
最新 Up-to-date な本	5
新入生のための図書館利用案内	6~7
研究者と図書館	
学生時代と図書館 79 「-美女とローマの図書館で-」	8
佛蘭西書巡覧21	9
世界をみつめて 1 「イギリスと酒」	10
中国のほんの話 (56) 「音読で中国語の力をつけよう! ~ 挑戦!朗読中国語 ~」	11
西欧人名事始め	12
OFFICE INFORMATION	
オフィス・インフォメーション	13~15
社会に貢献した本学図書館の貴重書	16
寄贈図書案内	17
平成24年度図書館ガイダンス	18
本学図書館のスペシャル・コレクションより ニッポナリアと対外交渉史料の魅力(30)	
「ザビエルを日本に送ったアヴァン船長の悲劇」	19~21
春の図書館を詠む	22

本誌の表紙に使われた貴重書

HASEGAWA, Takejiro
Japanese pictures of Japanese life
 Tokyo, 1895, 1903

長谷川武次郎『絵でみる日本の人々の生活』(Illustrator : anonymous)



本書は絵を中心にして日本人の生活を紹介したものです。異文化を知ろうとした欧米人を大いに満足させたと思われる各種の絵は、画風などから新井芳宗^{あらいよしむね}の作と推測されますが、この初版本には絵師についての記載はありません。

本書には八つの場面が絵に描かれ、短い英文と目次によって何の場面であるかが補足されています。それらは、僧侶、移動手段として駕籠・人力車、田植えの情景、傘職人、料理屋、「一日の仕事の後に」と題された按摩^{あんま}を受ける様子、花売りの老人です。作業中の傘が風に飛ばされているのを見て叫ぶ傘職人の絵には、「雨は防げど風には耐えぬ」という言葉が添えられるなど、滑稽味にも溢れています。なお、明治28(1895)年に刊行された初版本の表紙は、絵師がこの傘職人の絵を描く場面という凝った趣向の絵となっています。

また、写真右の絵は明治36(1903)年に刊行された増補2版ですが、絵師の新井芳宗によって刷り場(印刷所)で職人達がちりめん本を作っている場面が描かれています。この版は内容も初版と大きく異なりますが、同じ構想の同書名本が存在していたことがわかります。

原寸 19.2×14.8cm

『文明開化期のちりめん本と浮世絵』(2007年本学図書館刊行)より抜粋、加筆